安全対策　　　　　　　　　　　　　　　　　　記　　長野

FY2017リーダー部方針（再掲）
③価値ある訓練山行の実施
訓練山行は、6月か7月に搬出訓練（バリエーションに行く人全員対象）、12月雪上訓練（雪山対象）、1月雪上訓練（山スキー対象）を実施する。

基本方針　；全会員の安全対策技術の維持・平準化
　・お互いに復習しあい、学びあう
　・誰とパーティを組んでも対処できるようにする。全員が基本的な対処・知識を理解する。
上記が銀座山の会での’価値ある訓練’の定義とする。

予算方針　；基本は予備費とする（予算化しても消化目途ないため）。３万円程度
　・外部講習・書籍費用は、会への還元を前提に会費拠出を可とする
　・訓練費用は飲食費を除いた、現地宿泊費・リフト代・駐車場代等現地で参加者全員に発生する費用への会費拠出を、可とする。

各訓練方針
■搬出訓練
→ヘリ救助を前提として、事故者を安全な場所まで移動させる訓練。（支点確保・ロープワーク・短距離搬出）
会場候補：奥多摩海沢園地
　・安全な平坦地と傾斜地がある。日帰り現地集合が可能。幕営可能。
■雪山対象雪上訓練
→雪山歩行に必要な，基本歩行・滑落停止・雪上ロープワークの訓練。
会場候補：宝剣、富士、日興白根
■山スキー対象雪上訓練
→ビーコン探査・雪質判定・V字コンベア・シール歩行・スキー滑落停止の訓練。
会場候補：巻機一橋大WG小屋

以上